

第25回門司港 SWIM&RUN

野村 高広

門司港 SWIM&RUN。1週間前からいろんな事があり、身体もメンタルも最低最悪な状態で当日を迎えた。当日の朝も服用している薬の副作用でめまいがあり、棄権も考えたが、スタート前のセレモニー（エイエイオーのかけ声）を引き受けていたので、そうもいかなかった。

天候は快晴。かけ声のセレモニーを楽しめたら、あとは完走を目標にして、翌日に疲れが残らない程度に走ろうと考えていた。

7時30分に会場入り。7時受付開始なのに、だーだーだーれもない。昨年は96名の参加で100人を切っていた。今回は今まで用意していた選手への弁当はないと知らされていたので、きっと参加者が少なく予算不足なのだと考えていた。しかしプログラムを見ると、50人増の146名だった。みんな、ゆっくりしているだけだということが判明した。そうこうするうちに、チーム(限界アスリート)のメンバーも到着し、あるいは選手、ボランティア等が増え、賑やかなレース前の雰囲気になっていた。

今回、玄海トライアスロンクラブからは、千々和さんと河原さんが参加。私を含めて50代トリオであったが、もし来年、参加されるのなら、お二人は60代グループになってしまう。

さて、本題のかけ声ですが、人工AIのチャットGPTにエールを考えさせましたが、気の利いた格好いい言葉にはならなかったので、自分で考えました。当日、「チャットGPTが考えた」と言いましたが、あれは嘘です。話題性で気を引くための嘘でした。



当日の台詞は以下のとおりです。

皆さん、注目してください。

私は限界アスリートクラブ、兼、玄海トライアスロンクラブの野村といいます。

今、話題のチャット GPT に選手の皆さんへのエールを考えてもらいました。

チャット GPT はこのように答えました。

灼熱の暑さをもものともせず、ゴールを目指すアスリート達よ

泳いでは魚となり、走っては風となれ

体の痛みをもものともせず、走り続けるアスリート達よ

白熱の力の限り 心の臓を打ち鳴らせ

あきらめることなく 挑み続けるアスリート達よ

不撓不屈の精神で、見る者達を感動させよ

さあ、まもなくスタートフォンが鳴る

鉄人達よ、今こそ、生きている証を見せてみよ

さあ、選手のみなさん、体調は万全か、気合いは十分か

今年もフィニッシュ目指して、エイエイオー！

ちょっと、長すぎたようです笑。しかし、皆さん、エイエイオーのときは声を張り上げて手を上げてくれました。

さて、レース。

私はスイムの最後尾として泳ぎ始めましたが、最後尾付近はスイムに自信のない人ばかりなので、どんどん追い抜いていきました。バトルもなく、気持ちよく泳いでいる内に、意外に調子が良いことに気づきました。ランもそれなりに走れそうだ(50分ぐらい)という気がしてきました。

ランは、気持ちよく走れました。自分の能力以上の無理をしなかったので、暑いにもかかわらず、ペースを最後まで落とすことなく走れました。今年も終わってみれば、とても楽しい大会になりました。

スイム 0 : 28 : 38

ラン 0 : 58 : 06 (トランジションで5分)

トータル 1 : 26 : 44

65位 / 130人

門司港 SWIM&RUN 参加11回目 ワースト記録更新！